※令和４年度以降入学生用

学校番号	C4001

令和８年度　地理歴史科

科目	日本史探究	単位数	４
使用教科書	『精選日本史探究』（実教出版）		
副教材等	なし		

	前期	後期
単位数	２	２
レポート	６	６
必要出席回数	２	２
テスト	１	１
課題・実習等	メディア視聴学習　あり	

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

この科目は、中学で学んだ「歴史」および高校の必履修科目「歴史総合」でつちかった知識を活用して、さまざまなことに「なぜ？」という疑問をもち考えることが学習活動の中心となります。各時代の初期を学んだところで「時代を通観する問い」を考えて、その時代の見通しそれに対しての「仮説」を立てたりして、その時代の末期の「転機」を考えられるようになってほしいです。

これまでの歴史学習の内容をもとに自分自身で探究する学習を進めていく科目のため、単純な内容を問う問題よりも、重要な史料の読解問題や教科書から発展した探究問題がすべてのレポートに出題されています。レポート学習に取り組む際、教科書の熟読はもちろん、ＮＨＫ高校講座等の視聴学習やインターネット検索を活用して、レポート学習を進めることが必須の科目です。

２　学習の到達目標

・**知識・理解**：日本史の事件・文化を時期・推移などに着目してとらえ、事象同士を因果関係などで関連付けて理解することができる。

・**思考・判断・表現**：日本史の大きな枠組みと展開を軸に、歴史に関わる事象の意味や意義を考察し、レポート等に表現することができる。

・**主体的学習に取り組む態度**：歴史に見られる諸課題について、自分が抱いた疑問や考えたいことをもとに、その解決を視野に入れて構想し、レポートに表現することができる／学習に対する計画性をもつことができる／スクーリングにおいて積極的に自身の考えを持つことができる。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・資料から情報を読み取り、まとめる技能が身についている。 ・各地域の諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連など歴史的事象を理解することができる。 ・各地の人間観や価値観、人間の描写や表現方法などの歴史的特質を理解することができる。	・資料からの情報と既有の知識を関連付けて考察し、表現することができる。 ・諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連などについて、地理的条件と関連付け、多角的・多面的に表現することができる。	・自身が疑問に思った事柄について、資料からの情報や既有の知識をもとに、予想や仮説を構想することができる。 ・平和的で民主的な社会を形成する当事者としての自覚をもって考える態度を身に着けている

- 学習指導要領（第１章第２款の５）に則り，ラジオ・テレビ放送その他の多様なメディアを利用して行う学習による面接指導時間数の免除（面接指導の時間数のうち 10 分の６以内の時間数を免除）の制度を活用する。
- 学期末に５段階で評価する。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

範囲	単元	学習内容	単元の評価規準	観点別評価の評価方法		
				A	B	C
前期	原始・古代・中世	**1：国家と文化の形成** 旧石器・縄文・弥生・古墳時代 **2：古代国家の確立** 飛鳥・奈良・平安時代 **3：中世社会の成立** 平安・鎌倉時代 **：中世社会の成立** 鎌倉・南北朝・室町時代 **4：中世社会の展開** 室町・戦国時代 **5：統一政権の成立** 安土桃山・江戸時代 ● NHK ラジオ高校講座：日本史探究 ● NHK テレビ高校講座：日本史 ● インターネット・コンテンツ	(a)旧石器・縄文・弥生時代の社会・政治・経済・文化の変化を理解している。また、古墳・飛鳥・奈良時代の古代国家成立の展開を理解している。 (b)奈良・平安・鎌倉時代の社会・政治・経済・文化の変化を理解している。 (c)平安・鎌倉時代の支配体制の展開を理解した上で、古代から中世への大展開の歴史的必然性を理解し、表現できる。各種メディア学習に主体的に取り組み、考察した成果を報告レポートとすることができる。 (d)鎌倉・南北朝・室町時代の社会・政治・経済・文化の変化を理解している。 (e)戦国・安土桃山・江戸時代の社会・政治・経済・文化の変化を理解している。	R S T	R S T	R S 視聴学習
後期	近世・近代・現代	**6：幕藩体制の展開** 江戸時代 **7：大日本帝国の形成** 明治時代 **8：大日本帝国とデモクラシー** 明治・大正時代 **9：アジアの戦争と第二次世界大戦** 昭和時代 **10：現代社会の形成と展開** 昭和・平成・令和時代 ● NHK ラジオ高校講座：日本史探究 ● NHK テレビ高校講座：日本史 ● インターネット・コンテンツ	(a)江戸時代の支配体制の展開を理解した上で、中世から近世への大展開の歴史的必然性を理解し、表現できる。各種メディア学習に主体的に取り組み、考察した成果を報告レポートとすることができる。 (b)江戸時代の社会・政治・経済・文化の変化を理解している。 (c) 歴史総合で学んだ内容を理解し、日本史の更なる探究学習に取り組んでいる。 (d)幕末・維新期の近代国家成立の展開を理解している。また、明治・大正・昭和時代の社会・政治・経済・外交・文化の変化を理解している。 (e)戦後の昭和・平成時代の支配体制の展開を理解した上で、未来に向けた現代社会の課題を理解し、表現できる。各種メディア学習に主体的に取り組み、考察した成果を報告レポートとすることができる。	R S T	R S T	R S 視聴学習

- 観点別評価…Ａ：知識・技能／Ｂ：思考・判断・表現／Ｃ：主体的に学習に取り組む態度
- 評価方法……Ｒ：レポート(報告課題)／Ｓ：スクーリング(面接指導)／Ｔ：テスト(単位認定試験)